

平成31年度全国学力・学習状況調査結果報告

【お問い合わせ先】日高町教育委員会 管理課 電話 01456-2-3721

取組の成果があり改善傾向である

《調査概要》平成31年度4月18日実施
調査対象 小6(88名) 中3(88名)
調査教科 学力調査(国語,算数・数学,英語)
○今年度より、知識・技能と活用の問題が一緒になっています。
・児童生徒の生活習慣等の質問紙調査
・学校の取組に対する質問紙調査
※4月実施のため平成31年度となっている

【小学校】《成果◎と課題△》

◇国語・算数とも全国に近づく！

全国との差…国語(-1.8P)、算数(-4.6P)

《国語》

◎「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」領域は、全国と同様(+0.1)である。

△「話す・聞く(-3.4)」、「書く(-2.6)」、「読む(-3.7)」3領域は、全国を下回っている。

◎回答の仕方では、短答式が全国と同様(-0.5)である。

△回答の仕方では、選択式(-2.9)と記述式(-2.3)が全国を下回っている。

《算数》

◎「量と測定」領域は改善傾向が見られ、全国との差は、3P以内である。

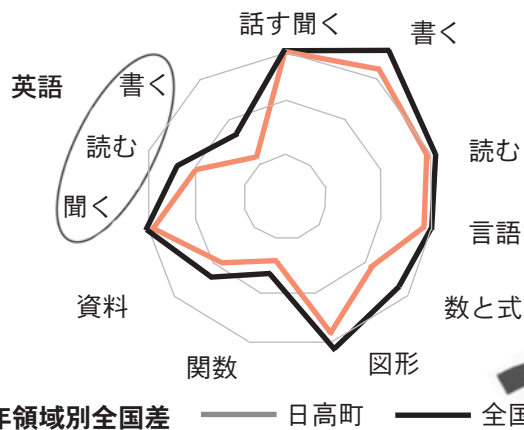
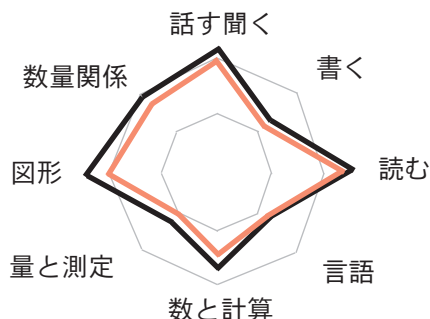
△全領域で全国を下回っている。5P以上の差がある領域は「図形」と「数量関係」である。

◎回答の仕方では、記述式が全国との差が縮まり、-1.4である。

△回答の仕方では、選択式(-4.6)と短答式(-6.7)が全国を下回っている。



小学6年領域別全国差 — 日高町 — 全国



中学3年領域別全国差 — 日高町 — 全国

【中学校】《成果◎と課題△》

◇国語・数学とも全国との差が縮まっているが、今一步！

《国語》

◎「話す・聞く」、「読む」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」領域は、全国を下回っているが3P以内の差となっている。

△「書く」領域は、全国との差が-8.2Pである。

《数学》

◎「関数」と「図形」領域は、全国を下回っているが5P以内の差である。

△全領域で全国を下回っている。特に「数と計算」領域は約10P差がある。

《英語》

◎「聞く」領域は、全国と同様(+0.1)である。

△「書く」領域は、全国を10P下回っている。

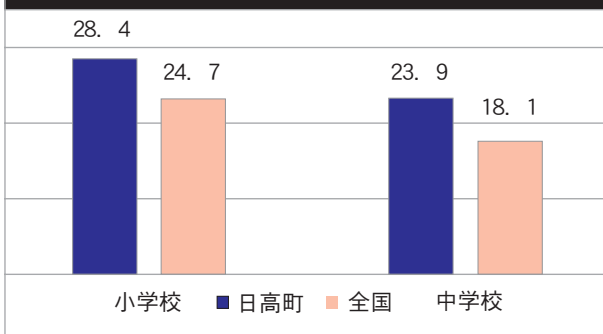
※英語は今年度初めて実施



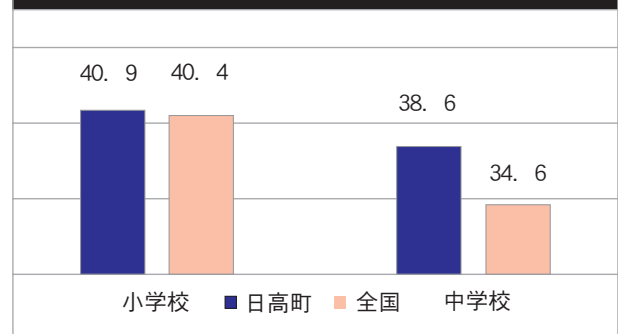


◇◆全国を上回っている子どもの姿◇◆

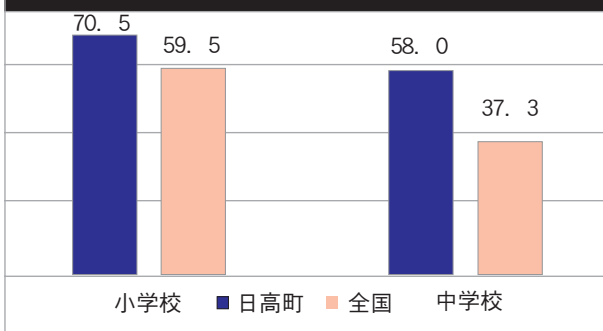
②自分の考えがうまく伝わるように工夫



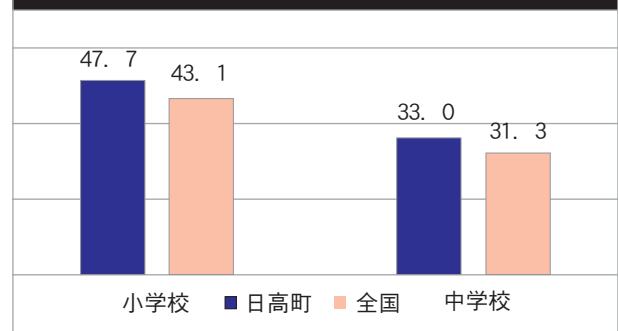
⑦人が困っているときは進んで助ける



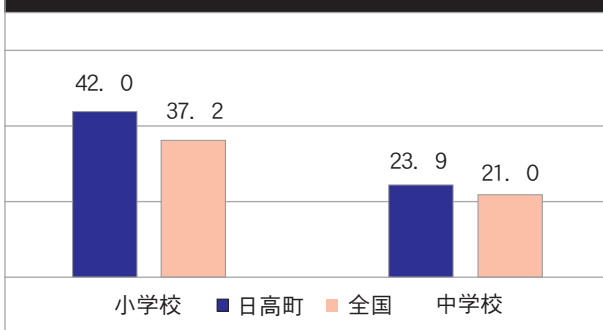
⑨先生はわかるまで教えてくれる



⑩先生は良いところを認めてくれる(再記)



⑯今住んでいる地域の行事に参加している



児童生徒質問紙では、小学生も中学生も全国を上回っている調査項目があります。

学習では、「自分の考えがうまく伝わるように工夫」をしています。

学校は授業で自分の考えを発表する場面を設定しています。また、先生は、児童生徒が分かるまで教えています。

また、地域の行事に参加したり、困っている人を進んで助けたりする面も見られ、好ましい成長をしている様子が見えます。

◇◆家庭の協力を◇◆

「家で必ず1時間以上学習する児童生徒」の割合は増加傾向にあります。今年度は小・中学校とも約60%になっています。

学習習慣の定着には、声掛けや環境づくりなど家庭での協力が大切です。

学習時間の目安→学年×10分+10分
例)中学1年生→7×10分+10分=80分

家庭で1時間以上学習する児童生徒の推移 — 小学校 — 中学校

